



思いを伝えよう

副校長 藤本 尚子

校内のアジサイの花が咲き始めています。アジサイは土壌の性質によって色が決まりますが、七変化とも言われるように咲き始めは淡い黄緑、それが青くなり、やがて赤くなり、最後には緑になるという具合です。これは色素の勢いによって同じ花でも色が変わっていくからだそうです。続けて観察していくのもこの季節の楽しみです。

学校では感染症の対策を様々行いながら教育活動を継続することができています。保護者の皆様のご理解とご協力には感謝するばかりです。しかし感染症対策としてマスク生活が続いていて気がかりなことがあります。それは、マスクをしていると相手の表情が読み取りづらく、自分の気持ちを伝えにくい、相手の気持ちがわかりづらいことです。京都大学の研究によりますと、「目だけで情報が通じ合うのは大人の世界であり、子どもたちは表情のなかのたくさんの情報を使って、少しずつ相手の表情、感情というものを理解していくものである」ということです。子どもたちの経験が失われていくことが心配になる内容です。また、4歳から10歳くらいの子どもの脳は、「相手の視点に立って考えること」を発達させる時期であり、コミュニケーションを通して、相手はどう思っているのか、自分はどのように振舞ったらよいのかをイメージする能力が芽生えてくるそうです。コロナ禍の今、子どもたちに相手の立場に立つ経験を豊かにさせていくためにはどうすればよいのか、学校も家庭も一緒になって考え、取り組みたいと思います。いつも以上に気持ちを言葉で丁寧に伝えることやボディランゲージを使うことなどは必要なことだと思います。また、マスクをしていると、どうしても表情が乏しくなりがちです。マスクの下も真顔でなく笑顔でいたいと思います。こういう時だからこそ、子どもたちには大人から温かい言葉をかけ、愛情を伝えていきたいと思います。休み時間になると、一年生が六年生にプレゼントされた「遊び券」をもって四階に行き、温かい交流が生まれています。子どもたちの心からの嬉しそうな様子を見てると心がふれあう活動の大切さをひしひしと感じます。これからも教職員一同、力を合わせてがんばってまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「こんにちは。スクールカウンセラーです」



谷地森久美子

昨年、緊急事態宣言のさなか鴨志田学区のスクールカウンセラー（以下 SC）に着任し、今年度で2年目に入りました。SCは、お子さんが健やかな学校生活を送れるよう、チーム学校の一員として横浜市から配属された「こころの専門家」です。保護者の皆様や学校の先生方と共に、子どもへの関わりを一緒に考える役割を担っています。

コロナ禍2年目の今年度は、制限の多い日々の中、あらためてご家庭と学校がきめ細やかに対話を重ねながら、子どもたちを見守り続ける1年にできればと考えております。市内でも鴨志田学区は、子どもたちが落ち着いている地域です。しかしそれはコインの表と裏のように、悩みや違和感、本当の気持ちなどを、子ども自身がひとり抱え続けている、ということでもありうるのです。

皆様には、家庭でのお子さんのサインや変化を見逃さず、あたたかく声をかけていただくと幸いです。そして保護者自身もひとりで抱えず、気軽にSCをご活用ください。SCの来校日は学校からのお便りに掲載しておりますが、時間などについては担任の先生、専任の先生までお問い合わせください。この1年が、みなさまにとって心安らかな1年となりますように。そしてSCとして皆さまのお役にたてるよう心を尽くしたいと思います。

新体力テスト

5月は縦割り班で一緒に新体力テストをしました。高学年は低学年にやり方を教えたり、低学年は高学年の運動能力に感心したりしながら、班の仲間と励まし合って頑張っていました。1年生から6年生へと心も体も成長していく様子が見られ、頼もしく感じました。



↑ソフトボール投げ



↑長座体前屈



↓上体起こし



↑20mシャトルラン



↑反復横跳び



なわとび朝会

本校では、体力向上の一環として月1回「なわとび朝会」を行い、クラスごとに長縄跳びをしています。昨年度は実施できませんでしたが、5月から再開しました。休み時間にもアドバイスし合いながら、進んで練習している子どもたちの姿も見られます。

1年生

各学年の様子

2年生

生活科「さかせたいな わたしのはな」

生活科の学習で、アサガオの種をまきました。種の観察をした日から植えるのをとても楽しみにしていました。「毎日様子を見に行きたい!」「お水をたくさんあげる!」といった声が聞かれました。自分が育てる花に愛着をもっているようです。どんな花が咲くのか楽しみです。



鴨志田公園遠足に向けて

6月には生活科の学習で、1, 2年生一緒に鴨志田公園に遠足に行きます。今回は体育館に集まり、実行委員が考えた遠足のテーマの発表や歩き方、集合の仕方などを確認しました。たてわり班で活動するときには、2年生はお兄さん、お姉さんとして行動しようとして張り切っています。



初めての毛筆書写

書写の時間に初めて毛筆の学習をしました。道具の置き方や、書くときの姿勢、筆の持ち方などを学んだ後、いろいろな線を書いて、筆の書き心地を確認しました。初めてのことがいっぱいでしたが、楽しんで取り組み、「もっと書きたい!」「漢字を書いてみたい!」と嬉しそうな声があがっていました。



3年生



5年生

ドキドキワクワク

5年生になって始まった家庭科の授業。「今日は何を学ぶのかな?」と子どもたちはドキドキワクワクしています。初めての調理実習では、ガスを使って湯を沸かし、ゆで卵を作りました。学んだことを、生活の中でどんどん生かしていこうと意欲満々です。また、先日 GIGA 開きを行い、タブレットを使った学習がスタートしました。ドキドキワクワクしながら、一生懸命操作に慣れようとする姿がみられました。



社会科見学

～資源循環局都筑工場・川崎日本民家園～

5月21日(金)に資源循環局と川崎日本民家園に社会科見学へ行ってきました。

家庭ごみがどのように収集され、処分されていくかの過程を映像や工場の方の話を通して学びました。実際に燃やすごみが集められている場所を見たり、それがクレーンで運ばれる様子を見たりしました。

民家園見学では、雨が降ったりやんだりする中、昔の家のつくりを見学し、一生懸命メモする様子が見られました。



民家園

資源循環局

4年生



6年生

社会科「税金の授業」

本校の校長は、市役所で税に関する部署に勤務していた経験があります。そこで、校長による税金についての授業を6年生2クラスで実施しました。行政の最前線にいた経験に裏付けされた話に、子どもたちは驚きとともに税金の大切さを学んだようです。また、授業を通して校長とつながれたことも喜んでいました。

